

# 2026年 JSCA 北海道支部 新春交礼会 実施報告書

開催日時：2026年1月30日（金） 17:30~21:00  
会場：EST, EST, EST!

【第1部】 交流ワークショップ 17:30~18:45 参加人数 54名

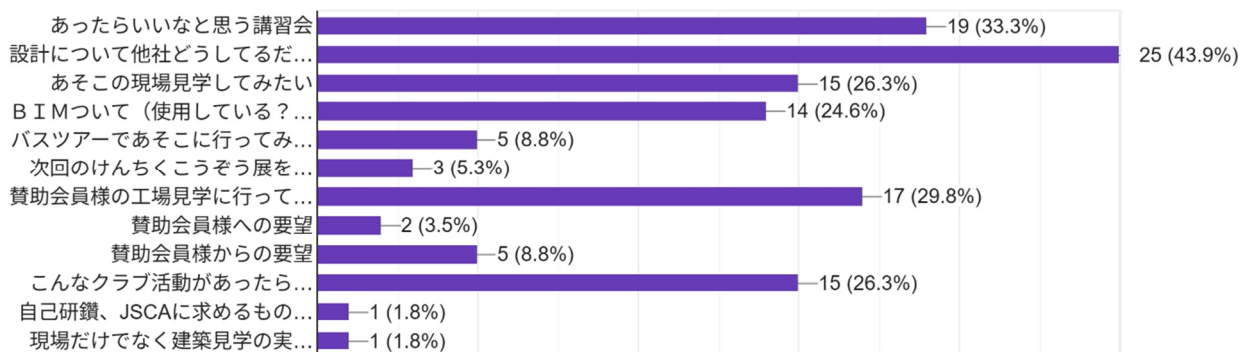


事前アンケートで寄せられた高い関心事に基づき、グループごとに構造設計者の将来像や実務の悩みについてディスカッションを行いました。

## 1. 参加申し込み時の関心事項

申し込み時のアンケート（複数回答可）では、「他社の設計手法」や「実務に直結する講習会・見学会」への意欲が顕著に現れました。

### 【興味のある項目】



## 2. グループディスカッションの主な内容

これらの高い関心を踏まえ、各班では実務の最前線にいる設計者ならではの議論が交わされました。

### AI との向き合い方：

「AI は計算はこなせるが、その出力を人間がいかにかに評価し、設計者の個性として差別化するか」というテーマで盛り上がりました。最近独立したメンバーが Gemini を相談相手に活用しているといった具体的な DX 事例も共有され、世代を超えた価値観の交流が行われました。

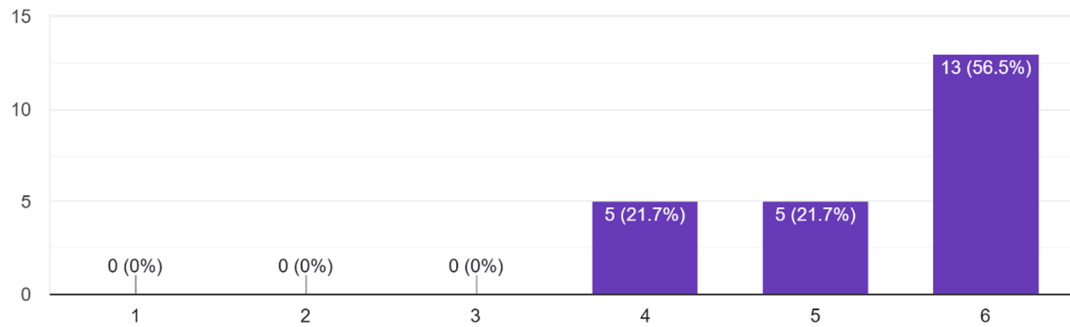
### 次年度活動への具体的な提言：

アンケートで関心の高かった「見学」について、杭製造工場や基礎地盤廻りの完成現場を見たいという具体的な声が上がりました。また、構造計算ソフトの有効活用術や BIM、設備・積算に関する勉強会の開催など、JSCA に求める具体的なニーズが明確化されました。

### 3.参加者アンケート結果

#### ワークショップ全体の満足度（6段階評価）

平均点は5.3点と、極めて高い満足度を記録しました。



#### 感想や、次回に向けた改善点・ご要望

- 「想定以上に盛り上がり、時間が足りなかったです」
- 「ニセコ地区での現場見学会を希望します」
- 「勉強になりました！」
- 「新しい取り組みで、最初はどうなるかと思いましたが、有意義な時間になりました」
- 「今回初参加でしかた大変、参考になりました。ありがとうございます」
- 「とても良かったです。また開催を希望します」

#### お礼

ワークショップについてのアンケートへのご回答、誠にありがとうございました。今回のワークショップでは、満足度平均 5.3 点という高い評価に加え、「他社の手法を知りたい」「現場見学を希望する」といった前向きなご要望を多数いただきました。会員の皆様の「学び」に対する高い意識を再確認でき、事務局一同、身の引き締まる思いです。皆様の声こそが支部発展の原動力です。お寄せいただいたアイデアを一つひとつ形にしていけるよう尽力してまいります。

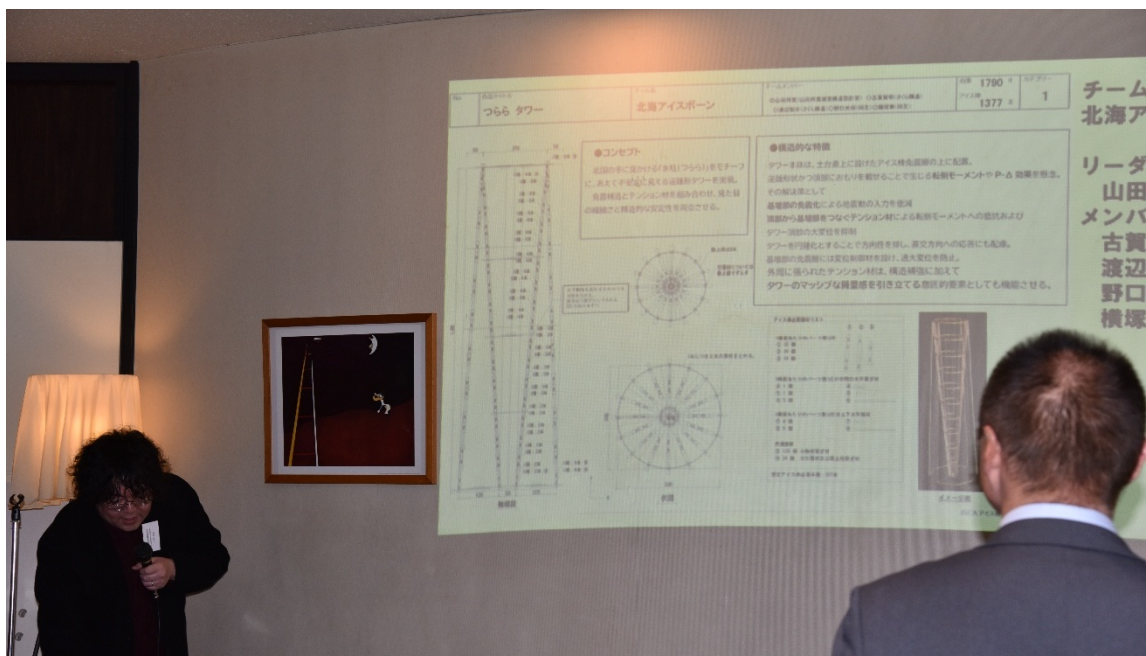
【第2部】 新春交礼会 19:00～21:00 参加人数 65名

支部の活動成果の共有と、会員相互の親睦を深める時間となりました。



### 1. アイス棒ブリッジコンテスト 参加報告

山田氏より、支部が協力した「アイス棒ブリッジコンテスト」の実施報告が行われました。身近な素材を用いた模型製作を通じて、構造工学の魅力を広く伝える活動の意義が共有されました。



## 2. 北海道赤レンガ建築賞 受賞作品の解説

小谷氏より、構造設計を手掛けられ、令和7年度北海道赤レンガ建築賞（大賞）を受賞した「小清水町防災拠点型複合庁舎 ワタシノ」の解説が行われました。賑わい空間と防災拠点の機能を両立させた構造計画の知見に、多くの会員が熱心に耳を傾けました。



## 3. 懇親会とお楽しみ抽選会

懇親の盛り上がり：

「世代を混ぜたグループ構成」が奏功し、ワークショップの議論の続きや、普段なかなか話せない他社との情報交換が活発に行われました。

感謝の抽選会：

多くの賛助会員・企業の皆様から、多大なる景品のご提供をいただきました。皆様のご厚意により、会場全体が一体となって盛り上がり、感謝の拍手とともに盛況のうちに幕を閉じました。

